

## 1 エネルギー基本計画の策定について

## 【社会的背景】

- 福島第一原子力発電所の事故
- 国のエネルギー政策の転換
- 脱原発依存社会の実現に向けた市民意識の高まり
- 防災・減災における自立分散型電源の重要性

## 【札幌市議会】

社会的背景を踏まえ、以下の意見書を全会一致で可決して国に提出

- 「原発に頼らないエネルギー政策への転換を求める意見書」(H23. 6)
- 「原発に依存しない社会の実現と再生可能エネルギーの利用拡大を求める意見書」(H25. 3)

エネルギー政策をはじめとした考え方の変化への対応が必要

## 【札幌市まちづくり戦略ビジョン】(H25.10)

- 札幌市の新たなまちづくりの指針となる最上位の計画
- 目指すべき都市像として「低炭素社会と脱原発依存社会を目指した持続可能なまちづくりを進め、世界に誇れる先進的な環境首都を実現する。」を標榜
- 戦略的に取り組むテーマの一つとして「低炭素社会とエネルギー転換」を設定

## 【札幌市エネルギー基本計画】

- 札幌市のエネルギー政策の方向性を定め、脱原発依存社会を目指したエネルギー転換の道筋を明示

## 2 地球温暖化対策地方公共団体実行計画の改定について

## 【地方公共団体実行計画】

- 「地球温暖化対策の推進に関する法律」の規定に基づき、地方公共団体に策定が義務付けられている温室効果ガスの排出抑制などのための計画

## 【札幌市温暖化対策推進ビジョン】(H23.3)

- 温室効果ガスの削減目標は、泊原発の稼働による削減分を見込んで設定
  - 〔中期目標：2020年までに1990年比で25%削減〕
  - 〔長期目標：2050年までに1990年比で80%削減〕

札幌市エネルギー基本計画との整合を図り改定

## 【新たな地方公共団体実行計画】

- 原発ゼロの前提に立って、温室効果ガスの削減目標値や目標年次の見直し、その達成に向けたさらなる温暖化対策の強化